第４学年　外国語活動指導案

日　時：平成３０年１０月２日（火）

対　象：４年３組 　２６名

指導者：T１　JTE 工藤　悠子

指導者：T２ ALT Jeff　Bernhardt

指導者：T３　HRT　山田　雅弓

１　単元名　　Do you have a pen?　　「おすすめの文房具セットをつくろう」 ３／４

２　単元の目標

　【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

・相手に配慮しながら，文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。

　【外国語への慣れ親しみ】

・文房具など学校で使う物について，尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

　【言語や文化に対する気付き】

　　・多様な考えがあることや，音声やリズムについて外来語を通して日本語と英語の違いに気付く。

３　関連する新学習指導要領における領域別目標

|  |  |
| --- | --- |
| 聞くこと | イ　ゆっくりはっきりと話された際に，身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。 |
| 話すこと  （　発表　） | ウ　日常生活に関する身近で簡単な事柄について，人前で実物などを見せながら，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。 |

４　指導に当たって

（１）単元観

　本単元では，児童の日常生活において身近な文房具を扱う。児童は日頃から，自分の持っている物と友達の物とを比べたり，仲の良い友達とは同じ物をそろえて持っていたりしている。文房具は児童にとって非常に身近な物である分，実際によく使っている文房具を英語でどういうのかを知ることは児童の興味が喚起されるものと思われる。

　　本単元のゴールでは，友達のために好みに応じた文房具セットを作って紹介する活動を行う。相手のために，相手の好みや持ち物からより気に入ってもらえる文房具セットを作らせるという，相手意識と目的意識のある場面を設定する。そうすることで，相手に配慮しながら文房具など学校で使う物について意欲をもって伝え合うことができるようにさせたい。

（２）児童観

児童の外国語活動に対する意識を調べるためのアンケート結果は以下のとおりである。

（実態調査　７月１９日実施　対象児童２５名）

①どこか１つに〇をつけましょう。

（人）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 質　　問　　内　　容 | いつもしている | ときどきしている | あまりしていない | ほとんどしていない |
| 聞く | 相手の目を見て，話を聞いていますか。 | １４ | １１ | ０ | ０ |
| 笑顔で友達の話が聞けますか。 | １８ | ７ | ０ | ０ |
| 相槌をうったり，うなずいたりしながら，話を聞いていますか。 | １０ | １１ | ４ | ０ |
| 話す | 相手の目を見て，話すことができますか。 | １７ | ８ | ０ | ０ |
| 笑顔で話すことができますか。 | ２１ | ４ | ０ | ０ |
| はっきり，よく聞こえる声で話していますか。 | １６ | ７ | ２ | ０ |
| かかわる | 自分から進んであいさつをしていますか。 | １２ | ９ | ４ | ０ |
| 顔の表情を意識したり，ジェスチャーを使ったりして会話をすることができますか。 | ８ | １５ | １ | １ |
| だれとでも楽しくおしゃべりができますか。 | １８ | ７ | ０ | ０ |

②外国語活動は好きですか。

ア　とても好き　　　　 （２２人）

イ　少し好き　　　　　 （　３人）

ウ　あまり好きではない （　０人）

エ　好きではない　 （　０人）

＜理由を書きましょう。（複数回答可）＞

◎アの理由

・楽しいし，知らないうちに英語を話すことができてうれしい。

　　　 ・習った言葉を全部使って，お友達に話すのも楽しいし，単語をしゃべるのも楽しいから。

　　 　・外国語を聞いたり，話したりするのが好きだから。

　 　　・いろいろ外国語を使って話すことが楽しいから。

　 　　・最近言える英語が増えてきて，友達に話すといい気分になるから。

◎イの理由

　　・あまり自分で言えないのを，みんなはできるけど，自分は追いつけない。

　　・いつもテレビを見たりゲームをしたりして，楽しいから。

　　・楽しいこともあるし，言いたいことが思うように言えなくてくやしかったこともあるから。

　 ③外国語で好きなことに〇，好きではないことに△をつけましょう。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 内　　容 | 〇 | △ | 内　　容 | 〇 | △ |
| 英語を話す。 | ２０ | ５ | ゲーム | ２４ | １ |
| 英語を聞く。 | ２３ | ２ | チャンツや歌 | ２１ | ４ |
| テレビを見る。 | ２４ | １ | インタビュー | １４ | １１ |

上記の結果から，外国語活動の学習に対する児童の学習意欲は比較的高いことが分かる。

ただ，分からない言葉が分かることの楽しさを感じる一方，相手に聞こえる声で話す，相槌をうつ，うなずく，顔の表情を意識したりジェスチャーを使ったりするなど，友達とのコミュニケーションを図る場面で苦手意識をもつ児童が多くいることも分かる。

そこで，まずは児童が聞き取った音や言葉を積極的に発表させ，発表できたこと，聞き取れたことを大いに褒めて自信を付けさせたい。児童と教師間のやり取りを大切にしながら，児童の発言や発話を教師が認め，思いを伝え合う喜びや楽しさを体験させることで，伝え合ったり認め合ったりする大切さを実感させたい。また，チャンツやペア活動等で，繰り返し基本の表現に十分慣れ親しませた上で，教師自らが率先して，表情豊かにジェスチャーを交えて話すお手本になることで，外国語でのやり取りに興味がもてるよう，促していきたい。

（３）指導観

児童は昨年度までにDo you like～? Yes, I do. / No, I don’t.の表現を学習してきている。

Do you have～?は本単元で初めて出合う表現となる。そこで，チャンツに合わせてDo you have～?

Yes, I do. / No, I don’t.の表現を繰り返し発音し，音声に十分慣れ親しませていく。

本単元ではたくさんの文房具が言語材料として登場する。そこでまず単元の導入では，ブラックボックスクイズをしたり，ALTが作った文房具セットを紹介したりしながら，実際によく使っている文房具を英語でどう言うかを知ることで，学習の見通しをもたせていく。そして単元のゴールとして友達にぴったりの文房具セットを作って紹介する活動を設定し，目的意識や相手意識をもたせることで，コミュニケーションの必然性を生み出し，活動への意欲を高めていく。また，チャンツで英語の音声やリズムに慣れ親しませ，日本語と英語の違いや共通点に気付かせたり考えを伝え合う表現に慣れ親しませたりする。

本単元のゴールが，相手に応じた文房具セットを作って紹介することから，ペアやグループ活動で相手に尋ねたり質問に答えたりするやり取りを繰り返しながら表現に十分慣れ親しませ，段階的に相手の好みも分かるようにしていく。そのやり取りから学んだことを生かして，先生や友達といった児童にとって身近な相手にぴったりの文房具セットを作る活動を通して，どうしてそのような文房具セットを作ったか，理由を伝え合うことで，相手を理解し，認め合い，受け入れることの大切さを体験的に実感できるようにしていく。

毎時間，導入の段階で，振り返りカードを使った前時の振り返りを行い，友達とのコミュニケーションで良かった点，友達の真似してみたい点，課題や問題点などについて取り上げ，子供たちがこうしたらいい，こうすればよかったという気持ちを学級全体で共有することで，本時の目的意識をはっきりともたせて活動させていくようにする。相手に配慮したコミュニケーションの理想の姿を，単元を通して全体で価値付けながら実践し，慣れ親しんだ英語表現を生かして人と関わる楽しさに気付かせていきたい。

５　研究仮説との関わり

|  |
| --- |
| 研究仮説（１）  　必然性のある言語活動を通して，英語の音声や基礎的な表現に慣れ親しませることで，外国語を使って自分の考えや気持ちを伝え合う素地・基礎的な力を養うことができるのではないか。 |

①友達にぴったりの文房具セットを作る活動を通して，友達の好みや持ち物などを考えるという相手意識をもたせる。

②グループで教え合いながら練習したり発表したりすることで，文房具セットを紹介する表現に慣れ親しませる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【本時】

|  |
| --- |
| 研究仮説（２）  ゴールを明確にした単元構成・振り返りの工夫をすることにより，主体的に学ぶ態度を育成することができるのではないか。 |

①「友達にぴったりの文房具セットを作って紹介しよう。」という課題を設定することで，学習の見通しをもたせる。

②前時の振り返りの時間を設定し，気付きや課題を共有することで，目的意識をもって活動させる。

【本時】

６　学習内容の系統性

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学　年 | 学　習　内　容 | 表　　現　　例 |
| 小学校  ２年 | Do you like tomatoes？  ・友達に好きかどうか尋ねたり，自分が好き　かどうか答えたりする。 | Do you like tomatoes?  Yes. / No. |
| 小学校  ３年 | Unit4 I like blue.  ・友達に好きかどうか尋ねたり，好きなもの や嫌いなものを伝え合ったりする。 | I like blue. Do you like blue?  Yes, I do. / No, I don’t. I don’t like  blue. |
| 小学校  ４年 | Unit5 Do you have a pen?  ・文房具をいくつ持っているかやどんな文房具を持っているかを尋ねたり，答えたりする。  ・贈る人の好みや持ち物を考え，その人のために文房具セットを作って紹介する。 | Do you have a pen?  Yes, I do. / No, I don’t.  I have a pen. / I don’t have a pen. |
| 小学校  ５年 | Unit3 What do you have on Monday?  ・学校生活に関するまとまった話を聞いてそのおおよその内容を捉えたり，教科や曜日について尋ねたり答えたりできる。 | Do you have math and English?  Yes, I do. / No, I don’t.  What do you have on Wednesday?  I have Japanese, calligraphy, music, math  and moral education. |
| 小学校  ６年 | Unit4 I like my town.  ・地域にある施設やない施設，あればよい施設を話したり書いたりする。  ・地域のよさを紹介する。 | Do we have a park?  Yes, we do. / No, we don’t.  We have a swimming pool.  We don’t have a library. |
| 中学校  １年 | Chapter1 Do you like animals?  ・好きなことや持っている物を尋ねたり答え  たりしながら会話を広げる。 | I have two cats and dogs.  Really? I want a dog. |

７　単元の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| コミュニケーションへの  関心・意欲・態度 | 外国語への慣れ親しみ | 言語や文化に関する気付き |
| 相手に配慮しながら，文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。 | 文房具など学校で使う物について，尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 | 多様な考えがあることや，音声やリズムについて外来語を通して日本語と英語の違いに気付く。 |

８　単元構成

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時数  （評価） | 〇　主　な　活　動  ・チャンツやゲーム | 〈　　〉仮説との関わり  〇　留　意　点 |
| １  (気)  ２  (慣)  ３  本  時  (コ)  ４  (コ) | ・ブラックボックスゲーム  ブラックボックスの中に入っている文房具をさわって，それが何かを答える。  〇ALTの話を聞いて，単元の見通しをもつ。  　ALTが友達のために作った文房具セットを紹介する。  友達にぴったりの文房具セットを作って，紹介しよう。  〇誌面を見てどのようなものがあるかを発表する。  〇【Let’s Watch and Think1】  文房具の言い方を知り，その数を数える。  〇【Let’s Play1】I spy　ゲーム  ヒントを聞いて，自分の持ち物から該当するものを探して言う。  文房具の言い方がわかったよ。  次は，友達の文房具セットを紹介できる言い方を知りたいな。  ・【Let’s Chant】 Do you have a pen?  ・カード・ディスティーゲーム  文房具セットの中身についてカードを使ってペアでやり取りする。  〇【Let’s　Listen】  　筆箱の中身の紹介を聞き，誰の筆箱かを考えて答える。  〇【Let’s Watch and Think2】  世界の子供たちがかばんの中に持っている物を知り，自分たちの持ち物と比べて気付いたことを発表する。  〇【Let’s Play2】  自分にぴったりの文房具セットを作って，相手に紹介する。  自分にぴったりの文房具セットを作って紹介できたよ。  他の人にもぴったりな文房具セットを作って紹介してみたいな。  ・前時の振り返りをする。  ・【Let’s Chant】  〇【Activity】〇〇先生にぴったりの文房具セットを作って紹介しよう。  グループで身近な先生のための文房具セットを作って紹介する。  先生のためにぴったりの文房具セットをみんなで作って紹介できたよ。  友達のための文房具セットも作って紹介できそうだな。  ・【Let’s Chant】  〇【Activity】友達にぴったりの文房具セットを作って紹介しよう。  友達のための文房具セットを作って紹介する。  友達のためにぴったりの文房具セットを作って紹介できたよ。友達の好みも分かってよかったな。 | 〇文房具の言い方を知ったり，数の数え方を復習したりする。  〇ALTの話を聞いて，これからの活動について予想させる。  〈仮説２〉  「友達にぴったりの文房具セットを作って紹介しよう。」という課題を設定することで，学習の見通しをもたせる。  〇文房具の言い方を確認し，それがいくつあるかと尋ねた上で映像を見せることで，文房具の言い方や数への興味をもたせる。  〇児童が言い当てた文房具について，好みの色や持っている数を尋ねることで，自分が持っている文房具を紹介しようとする意欲をもたせる。  〇数回聞かせて，ペアで尋ねたり答えたりする形で繰り返し，言い方に慣れ親しませる。  〇Do you have～?　Yes, I do. / No, I don’t.を使って相手に尋ねる表現に慣れ親しませる。  〇教師が児童にHow many～?と尋ね，児童が答えたりしながら，数にも気を付けて聞くことができるようにする。  〇世界の子供たちとの共通点や相違点，気付いたことなどを発表させる。また，映像で子供たちがかばんの中に持っていたものを自分たちで持っているかどうか児童に尋ね，持っている物，持っていない物の言い表し方にも気付かせる。  〇I have～.やI don’t have～.を使った表現に慣れ親しませる。  〈仮説２〉  前時の振り返りの時間を設定し，気付きや課題を共有することで，目的意識をもって活動させる。  〈仮説１〉グループで教え合いながら練習したり発表したりすることで，文房具セットを紹介する表現に慣れ親しませる。  〇どうしてそのような文房具セットにしたのかという理由も言えるようにする。  〇丁寧に紹介できるよう，クリアボイスやジェスチャーなど，紹介の仕方を工夫させる。 |
|  |  |  |

９　本時の指導

（１）目標

友達と協力して〇〇先生にぴったりの文房具セットを作る活動を通して，文房具について紹介しようとする。

　　 　　【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

（２）展開

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 段　階  （分） | 児童の活動  （Students） | | 教師の働きかけ  （JTE ・ALT ・HRT) | | ・留意点●評価○支援  ☆仮説との関わり |
| 挨　拶  （３） | １　挨拶をする。 | |  | |  |
|  | T : Good morning, everyone.  S : Good morning 〇〇sensei.  T : How are you?  S : I'm ~.How are you?.  T : I'm ~ .  Let's sing a song. | |  |
|  | |  | |
| 導入  （５） | ２　代表児童が前時の感想を発表する。  ３　めあてを知る。  〇〇先生にぴったりの文房具セットを作って紹介しよう。 | | J:気付きや課題を取り上げる。 | | ②前時の振り返りの時間を設定し，気付きや課題を共有することで，目的意識をもって活動させる。（２）  〇I have～.が紹介する表現に使えると気付いている児童を取りあげる。 |
| 展　開  (３０) | ４　文房具セットの紹介を聞く。  ・文房具セットが誰のためのものか，発表する。  ５　【Let’s　Chant】  ・オリジナルチャンツをする。  ６　【Activity】  〇〇先生のための文房具セットを作る。  ・グループになる。  ・先生のために，どんな文房具セットを作るかグループで話し合い，ワークシートを完成させる。  ・グループ内で紹介の仕方を練習する。  ７　クラスのみんなに紹介する。  ・グループごとに前に出て紹介する。  ・紹介を聞いて，どの先生の文房具セットか予想する。 | | ・教師がデモンストレーションをする。  Teachers：Hello!  A：I have a red pen.  J：I have a green marker.  H：I have a big ruler.  A：I have two erasers.  J&H：I have a notebook.  Teachers: Thank you!  H：Can you guess who?  S：Yuko　sensei.  Teachers:That’s　right!  A：Yuko sensei likes green.  J：Let’s chant.  ・文房具を変えながらやる。  J：Make groups of three or four.  ・文房具の中身や数などの確認をする。  ・児童とやり取りしながら発音や紹介の仕方のアドバイスをする。  J：Group△,please.  H：黒板にワークシートを貼る。  J：Can you guess who?  H：〇〇sensei?  S：Me!　/ No!  J：The answer is…  Group△：〇〇sensei. | | ・smileやclear voiceなど真似できそうなところに気をつけて紹介を聞かせる。  ・複数人で紹介するなど，発表の仕方を工夫してよいことに気付かせる。  ・どうしてそのような文房具セットを作ったか，文房具を参考に理由も考えさせる。  ・先生の好みや，持っているものなどの情報を持ち寄って話し合わせる。  ①グループで教え合いながら練習したり発表したりすることで，文房具セットを紹介する表現に慣れ親しませる。（１）  ・どの先生かを予想させて挙手させる。  ・理由を考えさせたり説明させたりする。  ●友達と協力して文房具セットを紹介している。（発言・行動）  〇文房具の言い方や紹介の仕方が分からなくなった時に教える。 |
| 振り返り  （７） | ８　自己評価をし，感想を発表する。  ・△グループは，協力して発表していてよかった。  ・△グループの文房具セットは，〇〇先生のために工夫して作っていた。  ・次は友達の好きな文房具セットを作ってみたい。  10　終わりの挨拶をする。  J：That's all for today.  Goodbye ，everyone.  S：Goodbye ， ○○ Sensei.  J：See you next time.  S：See you. | | J: Please write your feedback card.  A:良かったところを賞賛する。  H:指名する。 | | ・clear voiceが達成できたかや，友達の良かったところなどを具体的に書かせるようにする。 |

（３）板書計画

　〇〇先生にぴったりの文房具セットを作って紹介しよう

clear

voice

pen.

ワークシート

red

ワークシート

a

ワークシート

I have

ワークシート

ワークシート

ピクチャーカード

smile

two

ワークシート

erasers.

ワークシート

（４）活動図

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 黒　　　　板 |  |  |
| 〇〇　〇〇　〇〇  〇〇　〇〇　〇〇  〇〇　〇〇　〇〇  〇〇　〇〇　〇〇  〇〇 | | |

（５）準備物

教師…掲示用ワークシート，絵カード，児童用ワークシート

児童…Let’s Try1，筆記用具，振り返りカード